

第 10 期羽村市環境審議会第 3 回会議 会議録	
日 時	令和 3 年 10 月 12 日（火曜日）午後 2 時 30 分～午後 4 時 00 分
会 場	東庁舎 4 階大会議室 A
出席者	【委員】福嶋司会長、大崎玄副会長、谷口宏乃、松崎博満、金子義行、斉藤興治、山下敬一、西谷隆亘、名取雄太 【事務局】産業環境部長、環境保全課長、環境保全係長、環境保全係主査
欠席者	【委員】加藤康一
傍聴者	なし
議題	1 開会 2 会長挨拶 3 報告事項 (1) 羽村市地球温暖化対策地域推進計画令和 2 年度実績報告について (2) 羽村市エネルギー使用の合理化及び地球温暖化対策統合実行計画（統合実行計画）に基づく令和 2 年度のエコクリはむら実績報告について 4 審議事項 (1) 第二次羽村市地球温暖化対策地域推進計画の策定について 5 その他 6 閉会
配布資料	・次第 ・羽村市地球温暖化対策地域推進計画 令和 2 年度実績報告【資料 1】 ・統合実行計画/エコクリはむら 令和 2 年度実績報告【資料 2～6】 ・第二次羽村市地球温暖化対策地域推進計画の策定【資料 7】
会議の内容	1 開会 2 会長挨拶 3 報告事項（傍聴人なし） 議事進行：会長 (1) 羽村市地球温暖化対策地域推進計画令和 2 年度実績報告について 資料 1 に基づき、事務局から令和 2 年度（平成 30 年度実績）について説明 (会長) 数値など分かりづらい部分もあると思うが何かあるか。 (委員) 資料の表やグラフの中に民生部門の業務とあるが、具体的にどのような業種を指しているのか。 (事務局) オフィス事務所や飲食店などである。 (会長) ほかに何かあるか。 (委員) 建設業においては、過去から数値に増減があるが、今年度についても想定内の増減なのか。 (事務局) そのように理解している。 (会長) ほかにあるか。ないようなので、(2) の報告をお願いします。 (2) 羽村市エネルギー使用の合理化及び地球温暖化対策統合実行計画（統合実行計画）に基づく令和 2 年度のエコクリはむら実績報告について

資料 2 から 6 に基づき、事務局から令和 2 年度実績について説明

(会長) 事務局から説明があったが、何かあるか。

(委員) 13 ページの公共施設のエネルギー使用量において、市民生活部で A 重油の使用実績があるが、どこの施設で使用しているのか。

(事務局) 自然休暇村で使用したものである。

(委員) 13 ページに東電以外の電気使用実績として、日立造船とあるが、どういふことなのか。

(事務局) 市内公共施設の高压電力については、日立造船から調達しているものである。電気の調達については、再生可能エネルギーの割合や価格等を総合的に評価して、契約をしているものである。

(委員) 日立造船の前はエネットと契約していたと思うが、日立造船になったメリットは何か。

(事務局) 19 ページに示すとおり、二酸化炭素排出係数が減少したため、より環境に配慮した電気を使用したことが言える。なお、調達価格については、上がっている。

(会長) ほかに何かあるか。

(委員) 33 ページからのグリーン調達実績について、どのような内容なのか分かりづらい。

(会長) グリーン調達の内容や項目、単位などについて、説明書きを加えると理解しやすくなるのではないか。

(事務局) 指摘箇所を含め、分かりやすい資料作成に努めていく。

(委員) 先程の電気の調達について、二酸化炭素排出量や排出係数が減少していることは明記されているが、価格についても増減がわかるように明記する必要があるのではないか。今後、電力などは、価格と排出係数のオフセットなどによる販売が増えてくることが予想される。市においても二酸化炭素を減らす手段は色々あると思うが、少ない費用で効果的に減らす観点が必要と考える。コストがどのくらいかかっているのか、公表することにより市民の意識改革につながると思うので、検討をお願いします。

(事務局) 電力調達については、総合評価方式を採用しており、価格点と二酸化炭素排出係数などの評価項目があり、得点の高い者と契約を締結している。結果の公表の方法については、費用対効果の観点を含め契約部門と連携して取り組んでいく。

(委員) 9 ページの都内の電力の二酸化炭素排出係数について、2013 年度から徐々に下がっているが、この影響で排出量も減少していると理解していいのか。

(事務局) 詳細な分析はしていないが、排出係数が影響しているものと捉えている。

(委員) 使用量が同じ場合、排出係数が低ければ排出量も減少するが、6 ページの表は、市域で使用された電力量を基に算出されているものではないのか。

(事務局) 市域のエネルギー使用量及び二酸化炭素排出量の実績データについては、東京自治調査会で都内 62 の区市町村それぞれのエネルギー使用量などのデー

タ収集を行ない、同一の基準で算定を行っているため、詳細な数値については確認する必要があるが、エネルギー使用量についても、5 ページに示すとおり減少している。

(会長) 説明を聞けば理解できるが、資料がどのようなデータを収集し、どのように作成されたかなどの情報を記載すると、分かりやすいと思う。

(委員) 22 ページのエネルギー消費量上位 10 施設とあるが、市の施設すべての実績は集計していないのか。

(事務局) 市のすべての施設について、集計を行った結果を基に、上位 10 施設について、記載したものである。20 ページに上位 30 施設について記載しているので、参考にしてほしい。

(会長) 予め資料に説明内容を記載すると分かりやすいと思う。

(委員) 38 ページにエコクリはむらと記載があるが、どういった略語なのか。

(事務局) 以前までは、環境マネジメントシステム ISO14000 の承認を受けていたが、監査等の必要があるため、独自の環境マネジメントシステムとして、構築したものであり、エコでクリーンなはむらの造語である。

(会長) ほかによろしいでしょうか。市の二酸化炭素削減の努力がよく分かった。今後も引続き取組みをお願いする。それでは、次の議事に進むこととする。

4 審議事項

(1) 第二次羽村市地球温暖化対策地域推進計画の策定について

資料 7 に基づき、事務局から内容説明

(会長) 事務局から説明があったが、何かあるか。

(委員) 9 ページに市内省エネ法特定事業者とあるが、具体的にどのような企業なのか。企業名の記載がないが、どのような業種なのか。

(事務局) 省エネ法特定事業者とは、原油換算のエネルギー使用量が年間 1500 キロリットル以上の事業所が該当する。4 社については、すべて製造業である。

(委員) 明確な目標をもって温暖化対策に取り組んでいる企業のため、企業名を公表してもいいのではないか。

(会長) それぞれの企業の考えがあるため、公表は難しいと考える。委員から質問があるように、資料を見ただけでは内容が分かりづらいので、もう少し詳細な記載を心掛けてほしい。

(事務局) 承知した。

(委員) 9 ページの表の排出量取引との記載があるが、どのようなものなのか。また、再生可能エネルギー設備の設置、再生可能エネルギーへの切り替えとは具体的にどのようなものなのか。

(事務局) 排出量取引については、非化石証書やグリーン電力証書などの売買取引を用いて、二酸化炭素排出量の削減を実現するものである。また、再生可能エネルギー設備の設置については、具体的な設備の確認は行っていないが、太陽光発電設備などである。再生可能エネルギーへの切り替えについては、電力などの調達を太陽光、バイオマスなどの割合が高い電力の使用に切り替えることである。

(会長) ほかに何かあるか。

(委員) 10 ページに国における技術革新の進展等により 5kt と非常に大きな削減量の記載があるが、具体的にどのような内容を想定しているのか。

(事務局) 国のエネルギー基本計画において、再生可能エネルギーの割合を第五次で 16% から 18% としていたものを、第六次で 36% から 38% とほぼ倍増することが示されたことから、二酸化炭素排出係数が減少していくと考えている。また、グリーン成長戦略における、洋上風力や、アンモニアを利用した発電などの技術革新によって、二酸化炭素排出量の削減を見込んでいる。10 ページに掲げた施策については、一例でありすべてについて実施していくということではなく、このような施策によって、2031 年に 2013 年度比で 46% の削減が達成できるものと考えている。

(会長) ほかに何かあるか。

(委員) 電力の二酸化炭素排出係数の減少を見込んでいるとのことだが、具体的な数値は試算しているのか。

(事務局) そこまでの試算はしていない。

(委員) 10 ページの 1 で、一般家庭への太陽光発電設備の導入促進とあり、補助事業を行うものと理解しているが、太陽光発電設備を設置できる家と難しい家がある。また、共同住宅なども設置が難しいことから、不公平感が生じてしまうため、ヒートポンプの設置や断熱改修など様々な手法によって補助対象者を増やしていくような検討も必要ではないか。

また、公共施設からの削減については、石油系の燃料を多く使用していることが窺えるため、費用対効果の観点を含め、二酸化炭素排出量の少ない、ガスなどへの切り替えも検討していくことが必要ではないか。

(事務局) 現行の補助制度において、断熱窓などの断熱改修のメニューも取り揃えて実施しているところである。今後、より有効な二酸化炭素削減効果のあるメニューについて、費用対効果も含め検討していく。

(委員) 現在、LCA (ライフサイクルアセスメント) という、製品の製造から廃棄までの環境負荷を評価をする流れがある。LCA の観点からは、EV と HV とどちらが、環境に優しいのか、議論の最中であり結論に至っていないが、これからは、LCA の観点を踏まえて考えることが必要ではないか。

(事務局) LCA は大切な視点である。公用車両の EV 化については、すべて EV 化するのではなく、FCV 車などバランスを考慮しながら、導入を進めていく考えである。

(会長) ほかに何かあるか。

(委員) 10 ページの 1 で、一般家庭への太陽光発電設備の導入促進の説明があり、現在の約 950 戸から 10 年で約 2000 戸に増やすとのことだが、具体的な見込はあるのか。

(事務局) 環境省の統計資料から過去 5 年間の増加率の平均値を算出し、毎年増加することを見込んで積算したものである。

(委員) 直近の 1 年間で何戸増加したのか。

(事務局) 平成 30 年度から令和元年度で 60 戸の増加である。

(委員) 太陽光発電設備の設置については、ほとんどが新築と思うが、10年間で2000戸は難しいのではないかと。

(事務局) 市の助成事業において、既存の建物への設置実績も多くあるため、今後も増加すると考えている。

(会長) 市民の意識がどう向上するかによって、目標の達成が違ってくると思う。情報提供によって、市の取組みを理解してもらい、協力を得る流れを作っていくことが重要である。

(委員) 今、2030年までに手を打たないと、大変な状況になるとの報道がされている。市民の意識改革ができれば、いい方向に進むと思う。

(会長) ありがとうございます。ほかに何かあるか。

(委員) 本日の審議会において、二酸化炭素排出量削減の具体的な取組みまで、決定するのか。

(事務局) 本日は、2031年度における、市域の二酸化炭素排出量の目標値である、2013年度比46%減についてお諮りしている。次回以降に、地球温暖化対策推進法の改定に伴い、具体的な取組みの指標について計画に明記することとなったことから、進捗状況の確認項目や確認方法を含めて、議論をいただく予定である。

(委員) 二酸化炭素削減の議論だけでなく、森林による吸収といった、カーボンオフセットの議論も同時に必要ではないか。

(委員) 森林が二酸化炭素を吸収する数値などは、出ているのか。

(会長) 針葉樹の成長に伴い1本がどのくらい吸収するかといった、試算は行なわれている。羽村市の場合、森林面積が少ないため、森林面積の多いところと同じように議論することは難しいと考えるが、緑の存在という観点は、取り入れていくべきであると考えている。

(事務局) 二酸化炭素排出ゼロということは、ありえないことであり、必ず吸収させなければならないため、長期的な観点で、少しずつ取り入れていきたいと考えている。費用対効果の面では、難しいところもあるが、2050年に向けて森林などでの吸収といった視点での議論もお願いする。

(委員) 国の目標値である、2030年度に2013年度比46%の削減から、1年遅れの目標達成としているが、市民へはどのように説明していくのか。他の自治体は削減が進まず苦勞しているようであるが、羽村市の削減は進んでいることが窺えるため、根拠のある説明をする必要があるのではないかと。

(会長) 大事な提案である。目標を示せばいいというのではなく、背景を含め現在までの削減努力などについても、丁寧に説明することが必要である。

(委員) 東京都の目標到達については、難しいことは窺えるが、その理由などについて説明があるといいのではないかと。

(事務局) 脱炭素宣言を行う自治体もあるが、不確定要素が多い中で、羽村市においては宣言を行なわないが、国の目標値も視野に入れながら、可能な限り目標達成に努めていく。

(委員) 脱炭素やカーボンゼロといった言葉が先行する中、現実的な目標値を示すことは理解できるため、丁寧な説明をしていくことが重要である。

(委員) 2050年までの国のガイドラインなどは示されているのか。

(事務局) 2030年までのロードマップが示されているが、今後の新たな技術の進展などを含んだ不確定要素が多いものである。

(委員) 2050年までに、カーボンゼロを達成できなかった場合、ペナルティなどはあるのか。

(事務局) 今のところ、そのようなことはない、認識している。

(会長) ほかに何かあるか。今回、2031年度の二酸化炭素削減目標が示され議論いただいた。次回については、具体的な今後のチェック目標などについて、議論いただく。

5 その他

特になし

6 閉会 午後4時00分終了